

2019年度 関西学院大学先端社会研究所シンポジウム



モビリティと

地方的世界の 変容

豊岡市外国人住民に関する調査から

【趣旨】

関西学院大学先端社会研究所は「文化的多様性を尊重する社会の構築をめざした、社会調査を基軸とする先端的な研究を行うこと」を目的として掲げ、2008年より公開シンポジウムを開催している。本シンポジウムは、グローバル化の進展による国境を越えた人口移動の増加にともなう日本社会の変化を、地方的世界の変容という観点から検討するものである。農村・地方都市の高齢化の深刻化にともない、外国人居住者は移住者ではなく生活者の様相を現わしており、移動先の地域とのつながりを強めている。今回のシンポジウムでは、豊岡市と神戸大学が共同で実施している「外国人住民に関する調査研究」グループのメンバーの方々から、行政の具体的な取り組みと、外国人雇用事業所および外国人住民の現状についてご報告いただき、現在進行中の「地方的世界」の変容について考察するとともに、今後の国際的な人口移動とグローバル化にむけた地域社会の展望についても議論していきたい。

趣旨説明

神戸大学「地方的世界」調査と豊岡市外国人住民調査

福田 恵氏 (広島大学大学院総合科学研究科 准教授)

豊岡市の取り組み

「小さな世界都市～Local & Global City～」を目指して

木内 純子氏 (豊岡市役所 政策調整課政策調整係 係長)

報告1

外国人住民の家族と暮らし

平井 晶子氏 (神戸大学文学部 教授)

齊藤 優氏 (神戸大学人文学研究科)

報告2

外国人雇用事業所と外国人住民の仕事

梅村 麦生氏 (京都大学大学院文学研究科/日本学術振興会 特別研究員)

福田 恵氏

コメンテーター 大岡 栄美 (関西学院大学社会学部 准教授)

司会 鈴木 謙介 (関西学院大学先端社会研究所 所長)

日時

2020年1月25日(土) 14:00～17:00
(13:30～受付開始)

会場

関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス
大学図書館ホール

一般公開 入場無料/事前申込不要

【連絡先】 関西学院大学先端社会研究所事務室 TEL:0798-54-6085

E-mail: asr@kwansei.ac.jp URL: http://www.kwansei.ac.jp/i_asr

